

一般質問

吉岡
議員

○部活動地域移行に向けた課題について

質 来年度の移行に向けて施設利用料や指導者に必要な資格講習会など、クラブの運営資金が不足する事も想定される。今後の対応についてお尋ねします。

学校教育課長 地域クラブ運営には費用がかかるため、市独自の財源措置は必要と考えており、現在、どのような費用について支援ができるか、その予算の確保に向けて検討しています。本年度は、地域クラブを発足していただける関係団体等に対して、スポーツ庁、文化庁実証事業の取り組みの一環として、でき得る限りの支援を行う予定です。

○学校施設の環境整備と通学路の現状について

質 学校敷地内の環境整備においては予算が不十分なため、地域の方々が危険と隣り合わせで作業されている。来年度に向けての予算増額が必要と思うがお尋ねします。

市長 学校周辺の環境整備について、日頃から学校を中心に保護者や地域の皆さまによる草刈りの奉仕作

業や樹木の伐採など、環境整備にご協力いただいていることに、感謝いたします。学校では限られた予算を有効に活用するため、運営に大変苦慮されていることは承知しています。令和7年度の学校管理費については、予算を前年度より増額していますが、それを上回る物価高騰の影響を受けている状況です。学校は、それぞれ周辺環境の違いもあることから、その点を精査した上で予算配当に努め、学校運営が円滑に進むよう、教育予算の充実に努めたいと思います。また、児童生徒に危害を及ぼすような状況にあることは望ましくないため、改めて状況を把握した上で、必要な措置を取ってまいります。

質 調川町上免地区の県道上志佐今福停車場線の転落防止策と県道の整備について、令和6年度までに工事完了予定であったが現状完了していない。今後の対応についてお尋ねします。

建設課長 道路管理者である県に問い合わせを行ったところ、令和5年度に一部区間において転落防止柵の設置および白線の塗り直しが完了していますが、現時点で未整備の区間が残っています。令和6年度は、ほかの同様の対策や、道路施設の老朽化対策などの対応で、継続して整備できなかったが、残る区間において、転落防止柵の設置および白線の塗り直しについて、本年度中に完成予定とのことでした。

一般質問

川下
議員

○おもちゃ美術館構想を含めた全天候型遊戯施設設置の今後について

質 おもちゃ美術館とはどのようなものか。市民からは、全天候型施設への期待は高い一方で、木育を主軸としたおもちゃ美術館というコンセプトについては、その必要性や将来性に関して疑問の声も聞かれます。市民が求める施設のあり方と、市長がこだわる『おもちゃ美術館』の整合性について見解を伺います。

市長 木育とおもちゃ美術館との関連性は、松浦市総合計画において、木がもたらす文化を再発見し、生活の中に木が取り入れられた木育のまちにしますと掲げ、具体的な計画として木育推進計画を策定し、その中で、おもちゃ美術館の建設を目指すことを掲げており、総合計画と整合性がとれています。また、市民が求める施設の在り方ですが、求められるのは、雨の日や今年のような暑い日でも屋内で遊べる施設だと思えます。市の考えも同様で、おもちゃが展示してあるだけの美術館ではなく、あくまでも子どもたちが遊べるプレイランドです。子どもから大人まで遊べる木のおもちゃがある施設

を目指しています。

質 経営的に厳しいという意見が議会からも多い中、採算が取れる見込みについて伺います。

政策企画課長 外部から人を呼び込める施設のおもちゃ美術館としての魅力に加え、既存の海のふるさと館、そしてサウディングの提案による民間投資の施設も含めた立地条件からも、十分に採算が取れる見込みがあると考えています。

○危険な横断歩道の安全確保について

質 十八親和銀行前の横断歩道を渡るうとしても車が止まらないと相談があり、最近では警察による取り締まりが強化されたことから危険な横断歩道と思われるが認識を伺います。

建設課長 当該場所については、平成28年度通学路交通安全プログラムに基づく合同点検で、近くに市立図書館や銀行があり、児童をはじめとする多くの歩行者が往来する箇所でもあるため、危険であるというご指摘を受け、安全対策を実施しています。

質 その要因として電柱が運転手からの歩行者の存在を視認しづらくさせている。この電柱の移動についての対応を伺います。

建設課長 電柱は電気事業者等の所有となつていますので、警察も含めて、再度現地を確認する予定としています。